専門家派遣申請書（DX支援枠）

令和　　年　　月　　日

公益財団法人にいがた産業創造機構　理事長　様

専門家派遣事業による専門家等の派遣を以下のとおり申請いたします。

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 |  |
| 所在地 | （〒　　　－　　　　） |
| 代表者名 |  |
| 連絡先 | TEL：（　　　　）　　　－　　　　　FAX：（　　　　）　　　－　　　　　 |
| e-mail： |
| 担当者名 |  |
| 業種 |  | 創業年月 |  |
| 資本金 |  | 従業員数 | 　　　名（内正社員　　名） |
| 業務内容 |  |
| 主要取扱品・サービス | （　 ％） | 主要取引先 | （　 ％） |
| （　 ％） | （　 ％） |
| （　 ％） | （　 ％） |
|  （　 ％） | （　 ％） |
| 年間売上高 | 　　　千円　（令和　　年　　月 ～ 令和　　年　　月） |
| 派遣希望専門家等(※) | 氏　名 |  |
| 支援テーマ |  |
| DX（IT）担当部門 | □有　（従事者数）　専任　　　名　／　兼任　　　名　　　（部 門 名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□無 |
| ●DXを推進する目的・目標（現状の問題点や目指す姿、課題、取組状況等） |
| ●専門家に希望する支援の具体的内容 |
| ●自社のDX取り組みレベルについて、該当するものにチェックを付けてください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設問 | 1．十分な成果が出ている | 2．既にある程度の成果が出ている | 3．今後の成果が見込まれている | 4．取り組んでいるが、まだ見通しはわからない | 5．検討しているが、取り組んでいない | 6．検討していない |
| 業務の効率化による生産性の向上 | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 既存製品・サービスの高付加価値化 | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 新規製品・サービスの創出 | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| ビジネスモデルの変革 | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 企業文化の変革 | □ | □ | □ | □ | □ | □ |

 |
| ●支援内容スケジュール（予定） |
| 回数 | 時期 | 各回の支援内容について |
| 第１回 | 月頃 |  |
| 第２回 | 　　月頃 |  |
| 第３回 | 　　月頃 |  |
| 第４回 | 　　月頃 |  |
| 第５回 | 　　月頃 |  |

(※)派遣を希望する専門家と当社との関係は以下のいずれにも該当しません。
①専門家が当社の４親等以内の親族である。

②専門家が当社の発行株式総数、出資口数の総数若しくは出資価額の総額の50%以上に相当する数若しくは額の株式若しくは出資を所有する企業に在籍する者または所有する者である。

③専門家が、その発行済株式の総数若しくは出資口数の総数の50%以上に相当する数の株式を当社が所有し、若しくは出資をしている企業又はその企業の出資価額の総額の50%以上に相当する額の出資を当社が行っている企業に在籍する者又は所有する者である。

④専門家が当社の間で、継続して診断・助言を受ける契約を締結している者である。